

公益社団法人日本技術士会 平成25年度応用理学部会第十二回総会議事録

日時：平成25年5月21日（火） 17：15～17：50

場所：葺手第二ビル5階C,D会議室

出席：出席者23名、委任185名 合計208名

総会の成立定数は88名（平成25年5月21日現在：合計会員数873名の1/10）

出席者は以上のとおりであるので、第十二回総会は成立した。

## 1. 総会次第

### (1) 議長選出

### (2) 議事録担当選出

### (3) 総会議案

1号議案：平成24年度事業報告、収支決算報告及び監査報告

2号議案：平成25年度事業計画案及び収支予算案

3号議案：役員改選

その他意見交換

## 2. 配布資料内容

### (1) 1号議案 平成24年度事業報告、収支決算報告書及び監査報告書

1) 平成24年度事業報告書（部会活動報告） 見学会及び資源工学部会共催講演会  
<見学会写真>

2) 平成24年度収支決算書（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

3) 監査報告書

### (2) 2号議案 平成25年度事業計画案及び収支予算案

1) 平成25年度事業計画（案）

2) 平成25年度収支予算書（案）（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

### (3) 3号議案 役員改選

## 3. 議長選出（司会 木寺幸司副部会長）

第十二回総会の議長として、柴田悟応用理学部会長が選出された。

## 4. 議事録担当選出

議事録担当として、松井光彦幹事と柳澤剛幹事が選出された。

## 5. 議事

### (1) 1号議案（平成24年度事業報告、収支決算報告書及び監査報告書の承認）について

1) 柴田悟議長より事業報告、潮浩司幹事より収支決算報告が行われた。

2) 会計監査人（宮島慎幹事）より会計監査結果の報告が行われた。

3) 1号議案は、全会一致で原案通り承認された。

(2) 2号議案（平成25年度事業計画及び収支予算案の承認）について

- 1) 柴田悟議長より平成25年度の事業計画案、潮浩司幹事より平成25年度収支予算案の説明が行われた。
- 2) 事業計画案について次の質問が挙げられた。
  - 12月講演会のみ第2土曜日に開催する理由は何か。  
柴田悟議長より次の回答があった。
  - 他の土曜日開催講演会は第3土曜日だがそれに固定することなく、資源工学部会との共催で実施するので、双方の部会長同士で話し合ったところ、年末ということもあり第2土曜日の方が参加しやすいだろうということで決定した。
- 3) 2号議案は、全会一致で原案通り承認された。

(3) 3号議案（役員改選）について

- 1) 平成25年度から平成26年度の部会長候補者を募集したが、立候補の締切（平成25年5月17日（金）17時）までに応募者がなかったため、幹事会から木寺幸司副部会長が推薦された。
- 2) 3号議案は、全会一致で原案のとおり承認され、木寺幸司副部会長が部会長となることが決定した。部会長以外の新体制については、6月の定例会で発表して決定することとなった。

(4) その他意見交換について

- 1) 柴田悟議長より、平成25年度の見学会について特にwebで募集を行うという発表があった。
- 2) 中里薫幹事より、委任状に記載された意見の発表があった。
  - 応用理学部門の独自性のアピールを行うべきだ。《九州の会員》
- 3) 会場内での意見交換では以下の発言があった。
  - メールでの情報発信などを通して、地方の部会員の意見をできる限り吸い上げてほしい。《松田益義理事》 ⇒実施する。
  - 全国大会時に、大会開催場所で応用理学部会の例会を開催する。《上出泰生幹事》 ⇒実施する方向で調整していく。
  - 交流会の不参加者でも参加者と同額の参加費を納めているという不公平感の解消と、定例会の維持費に現在の参加費のかなりの部分を使用されるため交流会に充てられる費用が少ない、という理由から、例会・交流会の現在の参加費1,000円を、例会参加費と交流会参加費とに分けて徴収したい(1,000円と500円など)。幹事会で調整して、事前アナウンスの上、実施したらどうか。《松井光彦幹事》 ⇒幹事会で実施を検討する。

以上

(記録 松井光彦、柳澤剛)